

あゆみ通信

VOL.131
 あゆみの会(真宗大谷
 派大阪教区第2組同朋
 の会推進員連絡協議会)
 会長 浪花 博
 広報 本持 喜康

全推協開催 第2組からも参加



2019年10月9日(水) から11日(金) に第27回真宗同朋の会全国交流研修会(兼第47回近畿連区同朋の会推進研修会)が全国から180名の推進員が参加し香川県琴平の「琴参閣」を会場に、「真宗門徒の自立と連帯～善き人との出遇い～親鸞聖人と法然上人」をテーマに、講師を三重教区の藤本愛吉先生をお招きして開催された。講題は「いのちの呼びかけ」で、先生ご自身の「よき人」との出遇いや、25年間勤められた大谷専修学院での、また家庭生活での気付きについて話され、私たちは普段、分別の心で生活をしているが、いのちの呼びかけを聞き、自我の心が破られて、素直に物事を見ることの大切さ話された。2日目のフィールドワークでは、法然寺にて釈迦涅槃像に、善通寺では笑みを浮かべられた親鸞聖人象に参拝した。大阪教区からは7人が参加し、あゆみの会から加藤徳江さん、細川克彦・孝子夫妻が参加した。

(レポート：細川克彦)

法会が、講師に松井聡先生(第13組心願寺)をお迎えし、組内の住職や寺族、門徒や推進員23名が参加して開催された。海老海組長から、開会挨拶と。次年度の第2組諸行事の紹介の後、松本住職の調声で、皆で勤行をした。(→2面へ続く)

宗祖親鸞聖人に出遇いましたか

第2組報恩講にご参集を

報恩講の季節となりました。報恩講は宗祖親鸞聖人を始め念仏の教えに生きられた先達に思いをいたし、その御恩に感謝し、報いる法要です。お念仏の教えを聴聞し自らの生活を振り返る、真宗門徒にとって一年で最も大切な仏事です。(東本願寺「報恩講」)
 第2組では、恒例の合同報恩

講を開催して、組内のご住職や寺族、門徒や推進員が参加して、お勤めをし、御法話を聞き、お齋をいただきながら併せて同朋総会を開催しています。本年最終の第2組の仏事です。皆様のご参加をお待ちしています。

第2組報恩講ご案内

日時 11月14日(木)
 午後5時30分～8時30分
 会場 即應寺(阿倍野区阪南町)
 内容 勤行と法話、同朋総会
 勤行

正信偈 真四句目下
 念仏讃 淘五
 和讃 「五十六億七千萬」
 次六首
 回向 願以此功德
 法話 「真について」
 講師 竹中 慈祥先生
 (難波別院法務部長
 滋賀県長浜教区12組
 眞廣寺住職)

参加費 2000円(お斎料)

第2組最終聞法会開催



2019年10月5日(土) 午後2時から阿倍野区の西教寺(松本隆信住職)で、今年最後の第2組聞

行にあらず、善にあらず

振返れば、即應寺の藤井善隆前住職に2007年に背中を押されて、お寺のお仲間と10数年ぶりの第2組の推進員養成講座に参加して。早11年を過ぎる。仏弟子となり、他寺のお仲間と知り合い、親鸞聖人の教えを共に聞き続けてこられた。今、改めて初心に帰り、次の池田先生の言葉を噛みしめたい。「『歎異抄』第8章に『念仏は行者のために、非行非善なり』と言うお言葉があります。私たちにはこれが分からないのです。念仏は私にとって行であり善であるからです。つまり念仏は私の助かる行いであり、善根であると無意識に私有化しているからです。(中略)念仏は仏がつかう私を助ける行いや善根であるからです」(池田勇諦「真宗の生活2013年版」胆に銘じて南無阿弥陀仏。(本)

松井先生の講題は「南無阿彌陀仏の救い」

先生は、天親菩薩の「浄土論」から「観仏本願力 遇無空過社 能令速満足 功德大宝海」を紹介されながら、具体には私たちは生活において何でも、善い、悪いと分別し、煩惱の起こるままに、都合の悪いことや嫌なことは他人や周りのせいにして苦しんでいるが、聞法することによって、心の方にお念仏が入ってくると、煩惱の起こってくる種も知らされ、自らの煩惱と向き合い、沢山のお陰をこうむってきたことに頭が下がり、お念仏も申される生活が始まると、話してくださった。最後に、恩徳讃を唱和して閉会した。

(レポート：細川 克彦)

如是我聞

佛足寺 細川 克彦

松井先生は、初めに天親菩薩の「浄土論」から「仏の本願力を観ずるに、遇(もうお)うて空しく過ぐるものなし、能(よく)速やかに功德の大宝海を満足せしむ」を引かれ、仏の本願力に出会うものは空しく過ぎることがないと。そして空しく過ぎるとはどういうことか。これまでの人生を振り返ってみると、分かる。皆さんは、これまで思い通りに生きて来れたでしょうか。悔やんでも悔やみきれないことに悩んだり、また周りの事や他人に妨げを感じたり、また、避けることのできない老・病・死を厭い、生きている意味も見いだせない気



持ちで過ごすてはいないでしょうか。また、分別の心で様々なことや人を善いこと(人)、悪いこと(人)と分けて、自分の思い通りにならないと苦しんできたのではないか。都合の悪いことは何でも周りの事や他人のせいにして、愚痴ばかり言っている生活を空しく過ぎるといのではないか。



それに対して、親鸞聖人は本当の事に気付く方法として、

お念仏を申すことを勧められる。お念仏を信じる人は、空しく人生を過ごすことなく、功德(ご利益)で満たされると。そして、お念仏は、悪を転じて功德となる正しい智慧であると。例えば、辛い出来事や嫌な人に出会う苦しみがあっても、それが縁となって、聞法を始めることが出来て、お念仏の働きに出会い、様々な苦しみの種は私の分別と煩惱のせいであったと知ることが出来て、360度の転換が出来、あの辛い出来事や嫌な人のお陰で、仏法に出遇えたと感謝の念も起こるのではないか。

また、身体のおちこちが不自由になった時も、これまで気付かなかった健康な体が如何に有り難いことかを知ることができる。いのちを保ってくれる生き物のお陰。朝、目が覚めることが出来た時も御陰様と感謝され、自然とお念仏も申されるのではないか。そして、煩惱に振り回されることがなく、堂々とした人生を生きていくことができると、分りやすくと話された。

2020年第2組行事予告 第2組同朋大会

日時 3月7日(土)

午後1時30分～

会場 難波別院

同朋会館

内容 法話と器楽演奏(調整中)

講師 酒井正夫先生(写真)

(三重教区道浄寺前住職)

参加費 1000円(記念品有)。

第2組日帰リツアー

日時 5月26日(火)

目的 浄土真宗高田派本山訪問
詳細未定。決まり次第連絡

第2組聞法会

午後2時開会、参加費500円

●第1回

日 4月17日(金)

会場 紹隆寺

講師 大橋 恵真先生

(18組 遠慶寺)

●第2回「共に学ぶ正信偈」

日 5月23日(土)

会場 法山寺

講師 新田修巳先生

(4組 正業寺)

●第3回

日 6月13日(土)

会場 西教寺

講師 宮部 渡先生

(15組 西稱寺)

●第4回「共に学ぶ正信偈」

日 7月25日(土)

会場 未定

講師 新田 修巳先生

●第5回

日 8月21日(金)

会場 光照寺

講師 廣瀬 俊先生

(17組 法観寺)

●第6回「共に学ぶ正信偈」

日 9月30日(水)

会場 行圓寺

講師 新田修巳先生